

「肝炎等克服政策研究事業の企画及び評価に関する研究」広報活動報告

平成28年度 肝炎等克服政策研究事業の企画及び評価に関する研究
研究協力者 布施 晃（国立感染症研究所 感染症疫学センター客員研究員）

【平成28年度の活動内容】

1. 感染研見学・研修での一般向け講義

感染研では一般人（中高生、大学生も含む）の感染症に対する理解を深めるために、毎年20件前後の見学・研修を行っている。講義の中では、感染症全般について説明しているが、近年はウイルス性肝炎の項目を取り入れ、基礎知識の普及に努めている。また、その中で肝炎等克服政策研究事業の成果内容を踏まえつつ、肝炎対策を説明し、検査と治療推進のための啓発を行っている。

2. 感染研一般公開での「知って肝炎」プロジェクトとの連携イベント

感染研では毎年秋に戸山庁舎で一般公開を行い、パネル展示、実験室見学、体験プログラム、ゲーム、講演等を通して、一般人の感染症の理解増進と関心の向上を試みている。

本年度10月1日に開催された感染研一般公開のプログラムの一つであるクイズ大会では「肝炎」を取り上げ、本省肝炎対策室が中心となって進めている「知って肝炎」プロジェクトと協働し、元プロレスラーの小橋健太氏のボランティア参加を得ることが出来た。また、佐賀大学医学部所有のゆるキャラ「肝ちゃん」も、クイズ大会に参加を要請した。

クイズ大会では一般来場者に肝炎とその対策についてのクイズを出し、回答を利用してその啓発を行った。

また、今年度から開始された村山庁舎一般公開（7月30日）でもゆるキャラ「肝ちゃん」による肝炎の啓蒙活動を行った。

【活動成果】

感染研見学・研修における講演による啓発活動では、受講生であった中高校生の、肝炎に対する関心は高く、検査・治療を家族等に推奨する意欲を高める事が出来た。

感染研一般公開（戸山）での、有名スポーツ選手の参加を得たイベント（肝炎クイズ大会）では、事前にポスター、インターネット等で宣伝を行い、若い人の集客に成功した。また、同時にゆるキャラ「肝ちゃん」（佐賀大学医学部大学製作）も、戸山庁舎と村山庁舎での一般公開の会場内に配置し、当日、参加した多数の子供ずれのファミリー等の関心を惹く事が出来た。本研究事業の一般向けプロモーションとして、これらの活動は大きな効果を上げる事が出来た。

【セミナー等の開催概要】

1. 内容：平成28年度「感染研見学・見学研修」（感染研戸山庁舎）での講義：14件

対象：中学生、高校生、大学生

参加人数：合計156人

2. 内容：平成28年7月30日（土曜日）「感染研一般公開」（感染研村山庁舎）

参加人数：250人（ゆるキャラ「肝ちゃん」による啓蒙）

3. 内容：平成28年10月1日（土曜日）「感染研一般公開」（感染研戸山庁舎）

参加人数：480人（肝炎クイズ大会、）

【成果物（ポスター、パンフレット等）】

- ・村山庁舎一般公開ポスター（添付資料7）
- ・戸山庁舎一般公開ポスター（添付資料8）
- ・戸山庁舎一般公開パンフレット（添付資料9）
- ・開催案内 感染研ホームページ（添付資料10）
- ・開催案内厚生労働省メールニュース「感染症エクスプレス」平成28年9月30日号（添付資料11）
- ・開催案内 厚生科学 WEEKLY（添付資料12）
- ・厚生労働省メールニュース「感染症エクスプレス」あさコラム掲載（添付資料13）
- ・メディア掲載（ウェブニュース）一覧（添付資料14）
- ・メディア掲載（紙媒体）サンケイスポーツ（添付資料15）

- ・中高生見学研修での講義風景写真



・一般公開当日写真（肝炎クイズ大会、小橋健太氏、ゆるキャラ肝ちゃん）

